

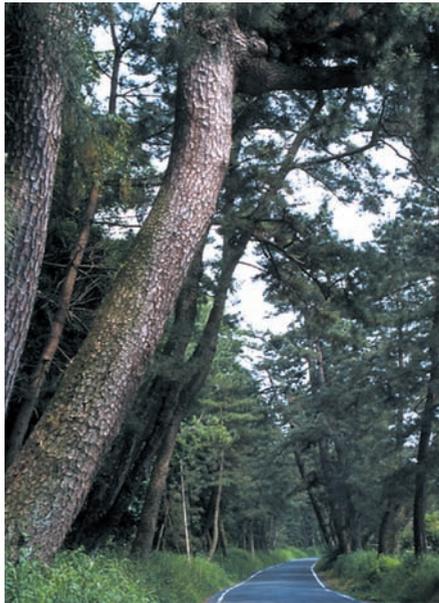


新居関所

国特別史跡。正式には「今切関所」といい、慶長5年に設置された。全国で唯一現存する関所建物。

御油の松並木

御油宿西端から赤坂宿東端までの約600メートル(275本)にわたり、樹齢300年以上の松が多く残った松並木。東海道中膝栗毛の中で、弥次さん喜多さんがキツネに化かされたという場所。



旅籠・大橋屋(東海道 赤坂宿)
1715~16年(正徳5~6)頃の建築で、旧屋号を鯉屋と称す。間口9間、奥行き23間ほどの大旅籠であり、広重の描いた浮世絵の面影を色濃く残している。東海道筋で唯一現在も営業を続けている旅籠。

所 豊川市赤坂町紅里127 ☎0533-87-2450



小川路峠(秋葉街道)

飯田市千代と遠山上村を結ぶ峠。秋葉街道の脇道の一つとして、峠を越えた先は飯田市松尾で中馬街道と交わる。小川路峠は標高1645メートルの峠。



大鹿村大河原地区(秋葉街道)

東山道

東海道と並び延喜の官道(古代の7つの道)の一つであり、当時の奥羽開拓のための重要な交通路であった。現在の中央自動車道の神坂パーキングエリア付近から、阿智村を通り天竜川を遡上するルート。全国に多くある街道の中でも、唯一原型らしきものをとどめている。

街道浪漫 Highway romance

古の街道で繋ぐ三遠南信

浜松市北区三ヶ日町(姫街道本坂峠)
江戸時代の東海道の脇街道の一つ。当時のメインストリートには、峠や川越えなどの難所、厳しい関所があった。



歌川広重画 東海道五十三次

東海道 遠州から東三河地域には袋井・見付・浜松・舞阪・新居・白須賀・二川・吉田・御油・赤坂などに宿場が設けられ、江戸や京、大坂の物資や人、文化の交流に大きな役割を果たした。

姫街道 東海道の見付宿から浜名湖の北側を通り本坂峠を越えて御油へ抜ける東海道の脇街道。新居宿は取り締まりが厳しいことで知られ、それを嫌った女性が多く利用したことから、姫街道の名がついたといわれている。

秋葉街道 三州街道飯田八幡宿を基点として、遠山郷を経て火の神さま秋葉神社の参拝に使った信仰の道であった。遠信古道は縄文時代からの塩の道といわれる。

三州街道 秋葉街道と並ぶ太平洋側の「塩の道」として有名。江戸時代には通商の道として盛んに利用された。東海道の岡崎宿から三河足助を經由して飯田から伊那谷を抜けて中山道の塩尻宿とを結んでいた。別名伊那街道、飯田街道、中馬街道ともいわれる。